

<知事コメント>

「 南北主要幹線道路ダブルネットワーク 全線事業化へ!! 」

本日、国土交通省より、北勢バイパスと中勢バイパスを結ぶ主要幹線道路である一般国道23号「鈴鹿四日市道路」が、令和2年度予算に向けた新規事業候補箇所として公表され、大変喜ばしく思っております。

「鈴鹿四日市道路」の新規事業化が実現すると、北勢バイパスの起点である三重郡川越町南福崎から中勢バイパスの終点である松阪市小津町までの約60kmの区間が全線事業化されることになり、並行する国道1号及び国道23号とのダブルネットワーク化に向けて大きな一歩を踏み出すこととなります。

北勢・中勢地域を結ぶ南北主要幹線道路のダブルネットワーク化は、交通の分散に伴う円滑な物流の確保や南海トラフ地震をはじめ大規模災害時の道路機能の確保に寄与し、三重県のさらなる成長や発展の礎となるとともに、県民の皆様の安全・安心に結びつくものと確信しています。

私がパネリストとして参加した昨年10月の「鈴鹿四日市道路シンポジウム」では、会場に定員を超える約250名もの県民の皆様にお集まりいただき、事業化に寄せる期待の大きさを肌で感じました。

そして、新規事業化に向けて、今年度設立された「鈴鹿四日市道路建設促進期成同盟会」と一丸となって、地域の熱い思い、地域の声を国に伝えたことが今回の朗報につながったと思います。

心強い支援をいただきました国会議員の皆様に加え、熱心で献身的な活動を積み重ねて頂いた鈴鹿市・四日市市をはじめとする地域の皆様など関わったすべての皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

今後、3月中旬に開催される国土交通省の社会資本整備審議会や政府予算案の国会審議を経て3月末頃には新規事業化が決定されることとなります。鈴鹿四日市道路が新規事業化されるのを心待ちにするとともに、「南北主要幹線道路ダブルネットワーク」の早期実現に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

令和2年2月28日 三重県知事 鈴木 英敬